

# レビュー問題

小学校5年 算数

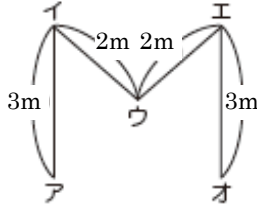
( 月 日)

## 【⑨ - 5 人文字】

氏名

1 子どもが1m おきにならんで、下のようなMの形の人文字をつくりま<sup>エム</sup>す。アのような端<sup>はし</sup>の点や、イのような角<sup>かど</sup>の点にもならぶとき、次の問いに答えましょう。

(1) アからイまでは、何人  
ならびますか。



(2) アからイを<sup>エ</sup>通<sup>オ</sup>ってオ  
までならびます。

① ならぶ人数を求める式を書きましょう。

② ①の式を計算して、ならぶ人数を求めま  
しょう。

(1)		人
(2)	①	
	②	人

2 子どもが1m おきにならんで、下のようなPの形の人文字をつくりま<sup>ピー</sup>す。端<sup>はし</sup>の点や角<sup>かど</sup>の点にも  
ならぶとき、次の問いに答えま  
しょう。

(1) 図1のような人文字をつくる  
とき、全部で何人ならびますか。

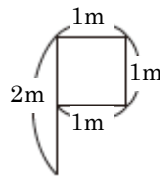


図1

(2) 図2のような人文字をつくる  
とき、ならぶ人数を考えます。

① (1)と同じように考えると、まわりの長さ  
の合計と、ならぶ人数には、どのような関  
係があるか、説明しましょう。

② ①の考え方を<sup>ピー</sup>使って、ならぶ人数を求  
めましょう。

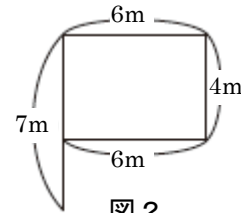
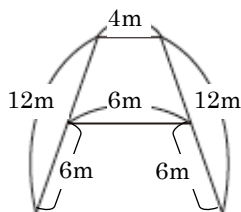


図2

(1)		人
(2)	①	
	②	人

3 子どもが2m おきにならんで、下のようなAの形の人文字をつくりま<sup>エー</sup>す。端<sup>はし</sup>の点や角<sup>かど</sup>  
の点にもならぶとき、次の問いに答えましょう。

(1) ならぶ人数を求める  
る式を書きましょう。



(2) (1)の式を計算して、  
ならぶ人数を求めま  
しょう。

(1)		
(2)		人

# レビュー問題

小学校5年 算数

( 月 日)

## 【⑨ - 5 人文字】

氏名

解答

1 子どもが1m おきにならんで、下のよう<sup>エム</sup>なMの形の人文字をつくりま<sup>はし</sup>す。ア<sup>かど</sup>のよう<sup>はし</sup>な端の点や、イ<sup>かど</sup>のよう<sup>はし</sup>な角の点にもならぶとき、次の問いに答えま<sup>はし</sup>しょう。

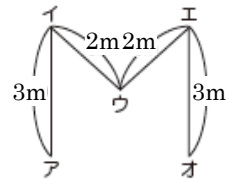
(1) アからイまでは、何人  
ならびますか。

(2) アからイを<sup>はし</sup>通<sup>かど</sup>ってオ  
までならびます。

① ならぶ人数を<sup>はし</sup>求める式を書きま<sup>かど</sup>しょう。

② ①の式を<sup>はし</sup>計算して、ならぶ人数を<sup>かど</sup>求めま<sup>はし</sup>しょう。

伸ばして10mにしてもいい<sup>はし</sup>ですね。



(1)	4 人	
(2)	①	(例) $(3 + 2 + 2 + 3) + 1$
	②	$(3 \times 2 + 2 \times 2) + 1$
	②	11 人

2 子どもが1m おきにならんで、下のよう<sup>ピー</sup>なPの形の人文字をつくりま<sup>はし</sup>す。端<sup>はし</sup>の点や角<sup>かど</sup>の点にもならぶとき、次の問いに答えま<sup>はし</sup>しょう。

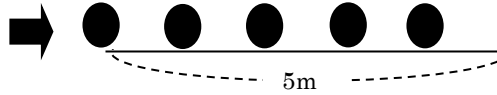
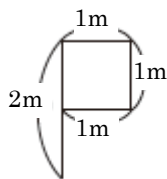
(1) 図1のよう<sup>はし</sup>な人文字をつくる  
とき、全部で何人ならびま<sup>かど</sup>すか。

(2) 図2のよう<sup>はし</sup>な人文字をつくる  
とき、ならぶ人数を<sup>かど</sup>考えま<sup>はし</sup>す。

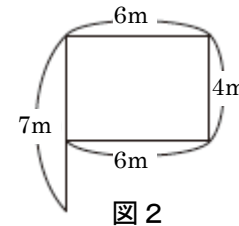
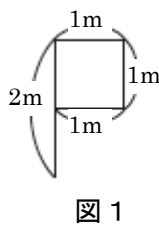
① (1)と同じ<sup>はし</sup>ように<sup>かど</sup>考えると、まわりの長さの合計と、ならぶ人数には、どの<sup>はし</sup>ような関係があるか、説明<sup>かど</sup>しま<sup>はし</sup>しょう。

② ①の<sup>はし</sup>考え方を<sup>かど</sup>使って、ならぶ人数を<sup>はし</sup>求めま<sup>かど</sup>しょう。

伸ばして5mの直線<sup>はし</sup>として<sup>かど</sup>考えられま<sup>はし</sup>すね。ただし、一方<sup>はし</sup>の端<sup>かど</sup>には人<sup>はし</sup>がいま<sup>かど</sup>せんね。



人が<sup>はし</sup>いない

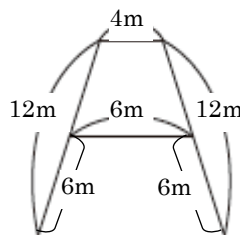


(1)	5 人	
(2)	①	まわりの長さの合計と ならぶ人数は同じ <sup>はし</sup> 数に なる。
	②	23 人

3 子どもが2m おきにならんで、下のよう<sup>エー</sup>なAの形の人文字をつくりま<sup>はし</sup>す。端<sup>はし</sup>の点や角<sup>かど</sup>の点にもならぶとき、次の問いに答えま<sup>はし</sup>しょう。

(1) ならぶ人数を<sup>はし</sup>求める  
式を書きま<sup>かど</sup>しょう。

(2) (1)の式を<sup>はし</sup>計算して、  
ならぶ人数を<sup>かど</sup>求めま<sup>はし</sup>しょう。



(1)	(例) $(12 + 4 + 12 + 6) \div 2$	
(2)	17 人	